

**第 6 期仙台市介護保険審議会**  
**地域包括支援センター運営委員会（第 5 回会議）議事録**

日時：平成 28 年 6 月 8 日（水）18：00～18：30

場所：仙台市役所本庁舎 2 階 第 2 委員会室

〈出席者〉

【委員】

井野一弘委員、大内修道委員、駒井伸也委員、佐藤功子委員、鈴木峻委員、出口香委員、長野正裕委員、森高広委員、若生栄子委員以上 9 名、五十音順

【仙台市職員】

會田保険高齢部長、下山田高齢企画課長、木村介護予防推進室長、大浦介護保険課長、川村介護予防推進室主幹兼推進係長、星高齢企画課包括支援係長、石川介護保険課管理係長、佐藤介護保険課指導第二係長

〈議事要旨〉

**1 開会**

会議公開の確認→異議なし

議事録署名委員については出口香委員に依頼→出口香委員了承

**2 報告**

(1) 平成 28 年度地域包括支援センターの事業計画について

下山田高齢企画課長説明（資料 1、資料 1-1）

【質疑応答】

委員：各地域包括支援センターの基本方針の立て方について、各センターの地域的な環境・特性を踏まえ、基本方針を立てているものが少なく、画一的に感じる。積極的に地域や環境の特性を生かした重点項目を明記し、方針を立てることが望ましいと考える。

事務局：今回資料の中に現状・課題という欄を設け、各包括支援センターの現状や課題を示している。委員のご指摘もあり、どういった基本方針の立て方が望ましいか、事務局にて再度検討したいと考えている。

委員：地域ごとの特性がある一方、仙台市として共通の課題はあるか。

事務局：まず現状と課題というところで、どの地区も高齢者が増加しているという大前提がある。そのような中、支援が必要な高齢者をどのように地域で支えていくかが 1 つの大きな課題である。さらに、地域活動の担い手をどのように増やし

ていくかという点や、最近増加する認知症の方に対してどのようにアプローチしていくかという点も大きな課題であると捉えている。

### 3 議事

- (1) 平成 28 年度地域包括支援センターの事業評価及び指導の実施について  
下山田高齢企画課長、大浦介護保険課長説明（資料 2、資料 2-1・2-2）

#### 【質疑応答】

委員：資料 2 の 5 ページのイメージ図に、「地域包括支援センターから指定居宅介護支援事業者への支援」とあるが、具体的にどのようなものか。

事務局：ケアマネジャー等が抱えている困難ケースについて、地域包括支援センターが開催する地域ケア会議などを通して、ケアマネジメントに対するアドバイス・後方支援を行っている。

委員：資料 2 の 2 ページの最後に「事業評価において重大な問題点等があり、改善の見込等もなく、地域包括支援センターの業務を委託することが困難と判断された場合は、介護保険審議会の議を経て翌年度の委託先として選定しないこととする。」とあるが、これまでこのような事例はあるか。また、このような事例があった場合、次の事業者選定はどういう流れになるか。

事務局：これまで事例はない。このような事例があった場合は、新たに事業者を公募し、その中で 1 番評価が高い事業者を受託先として選定することとなる。

委員：平成 27 年度の事業評価の結果、すべて問題がないというセンターだけとなっている。各地域包括支援センターは仕事が多岐にわたり、職員が目先の仕事に追われ、なかなか思うような仕事ができず大変だとの話を耳にする。評価が低いセンターがないことが不思議に思うのだが、今後の監査も同様に行う予定か。

事務局：資料の 2-1 の水準表をもとに監査を実施しているところである。ご指摘の点については、我々も普段から地域包括支援センターとの対話を通じ、評価が低くならないよう、常日頃からの指導を心がけてまいりたい。

委員長：他に質問等なければ、「平成 28 年度の重点取組事項と委託の方針について」は以上でよろしいか。

(一同了承)

委員長：それでは、当議案を承認とする。

### 4 その他

- (1) 地域包括支援センターの事務所移転について  
下山田高齢企画課長説明（資料 3）

【質疑応答】

特になし

5 閉会